

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	温泉事業			担当課名	建設水道課
(予算書コード)	温泉事業特別会計			担当係名	水道温泉経理係 下水道温泉管理係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営		
事業の開始・終了	年	月 ~	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)
根拠法令等の名称	下諏訪町温泉事業給湯条例				

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	町の活性化及び福祉の向上に寄与し、貴重な地下資源である温泉の有効利用を図るとともに、温泉供給契約者に対して安定した給湯を行う。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標契約件数	給湯口数	件	目 標	1,830	1,758	1,728
				実 績	1,798	1,728	
達成率	98.3%	98.3%					

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算	
事業費	事業費 A	302,020 千円		313,642 千円		295,409 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	3.94 人	26,000 千円	3.94 人	25,282 千円	3.94 人	26,591 千円
事業費合計 C (A+B)		328,020 千円		338,924 千円		322,000 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		町の借入	12,000 千円	23,100 千円	24,300 千円	千円	千円
		その他	293,268 千円	285,048 千円	282,597 千円	千円	千円
		うち 使用料・手数料 D	293,268 千円	285,043 千円	282,593 千円	千円	千円
一般財源 (町の負担)		22,752 千円	30,776 千円	15,103 千円			千円
受益者負担率 (D/C)		89.406 %		84.102 %		87.762 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町以外では行えない 町は、温泉の有効利用の検討から温泉を統合し、福祉の向上のため温泉事業を開始して、各戸給湯を行っている。
公平性	B	検討の余地がある 給湯加入戸数が、町全体の16%余りであるため、企業的な考えに立った自力運営に努めていかなければならない。
効率性	A	適切である 温泉加入者は、年々減少傾向にあり、事業収入も減少してきているため、経費節減に努めるとともに、施設は計画的に点検、修繕、更新等を実施して、緊急対応や故障等を最小限にしていく。
達成度	B	目標値どおりである 目標値をわずかに下回ったものの、ほぼ目標値どおりであった。給湯口数は年々減少しているが、安定供給を図るための施設整備を行い、湯量を確保しながら加入促進に努めたい。

総合評価	現状維持	安定的な財源確保に努めるとともに、効率的な修繕計画等により、引き続き健全な事業運営を行っていく。
	現状維持	
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	下水道事業			担当課名	建設水道課
(予算書コード)	下水道事業会計 収益/資本			担当係名	水道温泉経理係 下水道温泉管理係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営		
事業の開始・終了	年	月 ~	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)
根拠法令等の名称	下水道法、下諏訪町下水道条例				

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	主として市街地における汚水と雨水を排除するとともに、汚水については適正な処理を行って放流し、雨水については浸水を防ぎ、快適で衛生的な生活環境の構築を図る。						
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和元年度	令和2年度	令和3年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	総収支比率	総収益 ÷ 総費用 × 100	%	目 標	100	100	100
				実 績	100	102.9	/
				達成率	100.0%	102.9%	/

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算		
事業費	事業費 A	1,013,858 千円		987,357 千円		925,628 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	1.00 人	2,802 千円	1.00 人	2,993 千円	
	正規職員人件費 B	2.90 人	19,137 千円	2.90 人	18,609 千円	2.90 人	19,572 千円	
事業費合計 C (A+B)		1,032,995 千円		1,005,966 千円		945,200 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担	122,280 千円		47,500 千円		64,700 千円	
		県の負担	千円		千円		千円	
		町の借入	152,300 千円		201,100 千円		98,800 千円	
		その他	608,341 千円		647,583 千円		636,600 千円	
		うち 使用料・手数料 D	465,497 千円		464,557 千円		466,966 千円	
一般財源 (町の負担)		150,074 千円		109,783 千円		145,100 千円		
受益者負担率 (D/C)		45.063 %		46.18 %		49.404 %		

【事業の評価】

	区 分	評 価	説 明
妥当性	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	A	法律で義務付けられている 下水道事業は町で運営しており、汚水受益者負担及び雨水公費負担の原則によって運営している。
公平性	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A	適切である 排除面積及び下水排除量(使用水量)により、負担額が決定されている。
効率性	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A	適切である 上水道使用量の減少に伴い、排除量も減少してきているが、下水道機能を維持するため、施設の長寿命化及び耐震対策を計画的に行っている。
達成度	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	B	目標値どおりである 今後も目標値を下回ることのないよう、上下水道事業経営戦略に基づき、計画的な事業運営を行っていく。

総合評価	現状維持	適正な運営の持続に努めるとともに、今後とも適切な施設の維持管理により、安心・安全な暮らしの実現のために事業を推進する。
	(評価が変わった場合はその理由)	現状維持
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和2年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	水道事業			担当課名	建設水道課
(予算書コード)	水道事業会計 収益/資本			担当係名	水道温泉経理係 上水道管理係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営		
事業の開始・終了	年	月 ~	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)
根拠法令等の名称	水道法、下諏訪町水道事業給水条例				

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	水道使用者に、安価で安全な水道水を安定して供給できるよう、水源や水道施設の整備及び維持管理を計画的に行う。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	総収支比率	総収益 ÷ 総費用 × 100	%	目 標	100	100	100
				実 績	97.9	94.1	/
達成率	97.9%	94.1%	/				

【投入されたコスト・業務量】

		令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算		
事業費	事業費 A	447,906 千円		368,115 千円		406,857 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費	2.00 人	3,994 千円	1.00 人	2,293 千円	1.00 人	2,373 千円	
	正規職員人件費 B	5.60 人	36,954 千円	6.60 人	42,350 千円	6.60 人	44,543 千円	
事業費合計 C (A+B)		484,860 千円		410,465 千円		451,400 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担						
		県の負担						
		町の借入	59,700 千円	60,000 千円		60,000 千円		
		その他	303,234 千円	264,266 千円		263,500 千円		
		うち 使用料・手数料 D	247,249 千円	253,445 千円		253,488 千円		
一般財源 (町の負担)		121,926 千円	86,199 千円		127,900 千円			
受益者負担率 (D/C)		50.994 %	61.746 %		56.156 %			

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	A	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 法律で義務付けられている
公平性	A	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 適切である
効率性	A	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 適切である
達成度	C	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 目標値以下である

総合評価	手法改善	財政状況は年々厳しくなってきたが、計画的かつ健全な運営を継続するため、上下水道事業経営戦略に基づき、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組んでいく。
	手法改善の内容	今後、経営戦略の見直しを行い、水道料金の改定を検討していく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	令和元年度に料金改定を行い経営改善を図ったが、目標値を達成できなかったため。